

湘南大庭地区郷土づくり 推進会議たより

第11号

2018（平成30）年3月31日
編集・発行 湘南大庭地区郷土づくり推進会議
「事務局」湘南大庭市民センター
Tel. 0466(87)1111

湘南大庭地区全体集会在開催されました！

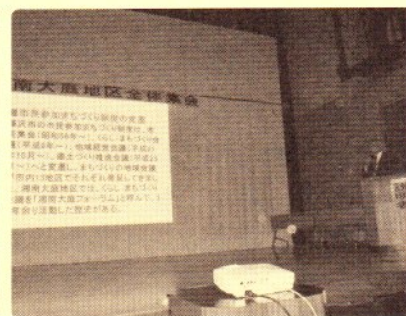
2018年2月10日（土）湘南大庭市民センター小ホールにおきまして、69名の地区住民が参加し、湘南大庭地区全体集会在開催されました。

まず、最初に、山野邊議長の挨拶、委員の自己紹介に引き続き、議長より、3月末までの現行委員の2年間の任期期間中に、次の6つの課題について議論を行い、その結果、これまでの取り組みと、今後の方針について報告をさせていただきました。

- (1) 高齢者などを見守るしくみの構築（報告及び提案）
- (2) インターネットとロボットの活用（提案）
- (3) 諸団体発行の回覧・配布物の統合（報告）
- (4) 健康寿命を延ばすためのラジオ体操の普及（報告及び提案）
- (5) 健康なんでも相談事業（報告）
- (6) 健康増進公園改修事業（報告）

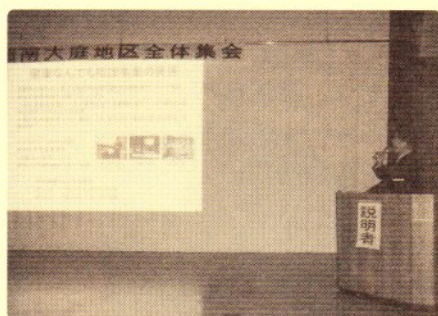


委員の自己紹介



全体報告

全体報告の後は、「健康増進グループ」「広報・IT活用グループ」「高齢化対策グループ」の3つのグループ会議ごとに、湘南大庭地区の課題や問題点を整理し、今後の事業実施に向けて検討を進めていく内容を、水島リーダー、柳澤リーダー、岡田リーダーより報告させていただきました。



健康増進グループ報告



広報・IT活用グループ会議



高齢化対策グループ報告

つぎに、郷土づくり推進会議として、全体報告並びに部会報告の結果を踏まえ、現在取り組んでいるもの、今後取り込む事業を報告及び提案させていただきました。

2部として、『2年間の推進会議の活動』や『10年後を見据えた住民がつくるあらたなまちづくり』について、全体集会上に参加された皆様との意見交換を行いました。

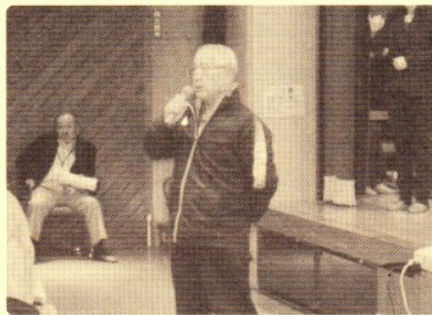


役員の発言の様子





参加者の発言の様子 ①



参加者の発言の様子 ②



参加者の発言の様子 ③

意見交換の際、出された意見は大きく分けると次のとおりです。

① 2年間の活動報告について

- (1) 地域活動の参加者を増やすために、活動内容の広報のほか、活動・行事内容の魅力向上、企画・運営に気軽に参加できる仕組みなどが必要とされている。
- (2) 火事や地震といった災害時に、まずもって助けてくれるのは隣近所の人であり、それには日頃からの付き合いが大事である。

②『10年後を見据えた住民がつくるあらたなまちづくり』をテーマとした意見交換

若者に地区内に定住してもらうため、住民と行政は連携を図りながらさまざまな対策を行っていく必要がある。住民同士の交流の場の設置や子育て支援、住宅支援などの環境づくりに関するものから、就労支援や働く場の誘致など雇用に関するもの、さらには定住促進のための、空き家も活用した相談の場など多岐に渡って意見がでました。

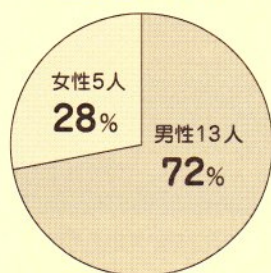
今年は、急速な少子高齢化を迎えての対処方法についての意見交換となりました。核家族化の影響もあり、子どもが親の世代を支えることができなくなり、孤独や貧困に苦しむ高齢者が増え、深刻な社会問題となる可能性について、指摘する意見もありました。

また、逆転の発想として、「若者が高齢者を支える地域」から「高齢者が若者を支える地域」への発想のバージョンアップについての発言もありました。

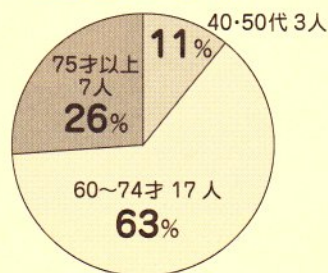
平成29年度湘南大庭地区全体集会アンケート等集計結果

(参加者69人中27人回収)

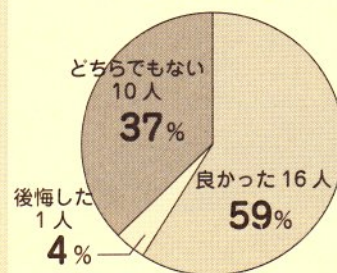
【性別】
回答者(18人)



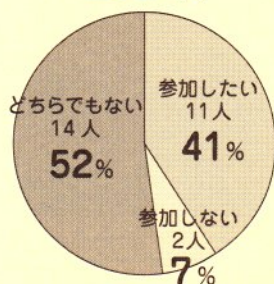
【年齢】
回答者(全員27人)



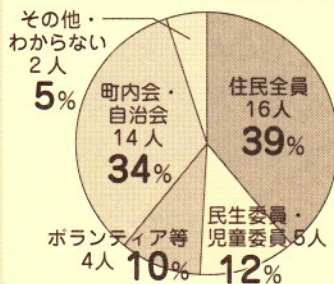
【参加した感想】
回答者27人



【次回参加しますか】
回答者27人



【地域の担い手は?】
回答者27人(複数回答)



興味を持ってよく見る情報は
(回答者 25人中、複数回答可)

①福祉介護関係	7人	⑦生活環境	5人
②ボランティアに関する情報	5人	⑧国・県・市	8人
③まちづくりに関する情報	1人	⑨学校関係	6人
④青少年に関する情報	4人	⑩公民館	9人
⑤防犯	7人		
⑥交通	3人		
⑧防災関係	11人		
⑩警察関係	6人		
⑫自治会関係	15人		



全体集会を終え、2年間の委員の任期を終えて！



広報・IT グループ

リーダー 柳澤 知子

湘南大庭地区の街の活性化を考えた場合、コミュニティの基本となる自治会・町内会の担い手の減少が大きな問題となります。個々の個性に合わせた活動の維持・推進のためにどうすればいいのかが、いろいろ検討しました。

地区には街にとって必要な安全・安心に関わる団体がたくさんあります。

その団体は、皆さんにとって大切な情報を広報紙として発行しています。他に市、県等からの配布物の他、自治会単独分、小中学校区分もあり、回覧板には何部も重なってきます。そのような状況で、一枚一枚裏面まで目を通せていますでしょうか。むしろ一枚に各団体の記事がまとめてあれば、発行する側、配布する人、読む人の負担ははるかに軽くなります。昨年、自治会連合会がそれを踏まえて、地域団体統合紙【樺】第1号を発行されました。

これを機に各団体も削減に向けて検討していただけたらと思います。

また、情報の発信として『湘南大庭ポータルサイト』があります。運営委員会が新体制になり、ますます情報の発信・受信の活性化と新設やスキルアップのための窓口になります。

次期推進会議に向けては、ITをはじめ文明の利器を使って、私たちの暮らしに安全・安心をもたらしてくるものについて情報収集し、検討していきたいと思います。



健康増進グループ

リーダー 水島 茂雄

今後の活動についての提案

《次期委員の方及び市への提言》

- * ラジオ体操を湘南大庭の朝の風景へ～健康寿命日本一～を目指し、活動の継続
 - * 高齢者への健康・医療の無料相談事業の継続
 - * 幅広い年齢層の市民が日頃から身近なところで健康づくりを行えるよう健康増進遊具設置事業の継続
- これまで2年間の委員任期中に実施してきた前述の3項目の事業について、地区内の有効な高齢化対策事業として継続し進めてほしい



高齢化対策グループ

リーダー 岡田 敦

湘南大庭地区の2025年を見据えての活動で、次の3項目を各自治会・町内会に導入していただきたいと呼びかけをした。

1. 孤独死・急病・大怪我発生など異変発生時に早期発見できる
「一人暮らし高齢者安否確認しくみ」の導入
2. 高齢者の孤立防止上「住民同士のふれあう機会」の実施
3. 高齢者の見守り活動推進と身近な高齢者相談相手として「地域福祉協力員」の設置

高齢者の見守り活動推進の第一歩として、2017年12月末の期限で各自治会・町内会長宛てに「地域福祉協力員」の登録をお願いしました。その結果、4自治会から数名の届出がありました。

湘南大庭地区には現在、ご夫婦だけの世帯が多く見受けられます。したがって、やがてはひとり暮らし世帯が増えると予測し、今からひとり暮らし高齢者の見守りしくみ導入の輪を広げ、経験を踏まえてそのしくみの充実を複数年かけて熟成していくという理想を持ったが、その理想の実現は簡単なものではないと感じました。

「住み慣れた地域で安心して暮らし続ける」には高齢化に伴い住民同士の相互の助け合いが必然的に求められるのではないのでしょうか。当活動が継続し発展することを期待します。

◆◆意見・質問用紙で提出された主な意見◆◆

～全体集会に関するもの～

①発表内容に関するもの

- (1) マンションなどの集合住宅では、人と人の距離が近いため、穏やかな「見守り」状態を作ることができが、戸建ては難しい。
- (2) コミュニティ活性化は、単なる「若い世代」でない別のキーワードを探すべき。
- (3) 地域活動やイベントに若者が参加し易い工夫が必要。
- (4) 若者の活動の場は若者がつくるべき。
- (5) 高齢者へのエール
まちづくりを若い世代だけに頼ってはいけない。高齢者はもっと自助努力ができるはず。
- (6) コミュニティの活性化には自治会・町内会内のサークル活動を推進すべき。
- (7) まずもって助けてくれるのは隣近所の人であり、それには日頃からの付き合いが大事である。
- (8) コミュニティの活性化が一番大切。
- (9) 小さな地域活動の積み重ねが大切。
- (10) 湘南大庭の10年後は若者が増加している。
- (11) 課題解決策に具体化が乏しい。高齢者にはSNSは無理。
- (12) 地域課題は「高齢化」のみではない。
- (13) 地域福祉協力員の拡大を期待している。
- (14) 地域の担い手が同じ顔ぶれ。次世代に繋いでいくべき。
- (15) 地区内の先進事例を知ることができ参考になった。
- (16) もっと地区内の先進事例を知りたい。
- (17) 課題解決策を見出すことの難しさを感じた。
- (18) 推進会議の内容が良くわかった。
- (19) 委員の努力に感謝したい。
- (20) 高齢者対策グループの今後の展開に期待したい。

②開催運営に関するもの

- (1) 関係者の会合になっていると思う。
- (2) 質問に対して答えがはっきりしていない。
- (3) 一人の人がたくさん発言しても構わない。
- (4) 各自治会の役員も参加すべき。
- (5) 役員と参加者との温度差を感じた。
- (6) グループワークを取り入れる。
- (7) 意見交換の課題は予めチラシに記載して欲しい。
- (8) 活舌の悪い方の発言は聞き取りにくかった。
- (9) 小ホールの音響設備は老朽化が目立ち、高齢者には聞き取りにくい。

～湘南大庭地区のまちづくり活動について～

- (1) 地域活動への若年層の関心が薄い。
- (2) 地域活動は、定年を迎えた世代にがんばってもらいたい。

～そ の 他～

- (1) 地区内の歩道部分は、車椅子利用者の利用がしにくい。

今回、意見・質問用紙でご提出していただいたものは、多数の方が同一意見となったものは、ございました。また、紙面を見た方が、全体像が把握できるよう、全体集会の課題に関わる内容を中心に抽出し、整理しております。

※整理及び紙面の都合上、御意見の表現については要約・簡素化しております。

